

■重点課題名：「教育の質向上」と「国際化（国際的に活躍できる人材の育成）」

重点事業目標名：教育レベルの質向上

具体的施策

- (1) 新教育課程の編成…学力定着及び高大接続(大学新入試制度)に対応できる教育課程の検討
 - * 「教育課程改革プロジェクト」を昨年度より引き続き設置し、8月より検討開始。現状の教育課程及び学校体制の課題を抽出。2022年度新教育課程原案、2021年3月完成。
- (2) 教員研修の充実
 - ①授業づくり教科研修
 - * 新型コロナウイルス感染予防で4月から5月にかけて休業が続く中、オンラインによる授業を実施するための研修を実施。全教員がZoomのIDを取得し、オンライン授業（クラスごとに時間割作成）やオンラインホームルームを実施。
 - * 休業明け、授業進度を生徒に提示するためのロードマップを各教科で作成。
 - ②教員研修…下記研修を実施。
 - * 大学入学共通テスト研修（10月・2月2回実施）、i-Pad研修（2回）、ICT活用研修、長野県総合教育センター主催の教科研修(7名)、法人支援による教科研修(21名、延べ33回)・授業アンケート分析研修会（9月・3月の2回）。
- (3) ICT教育の充実 新教務システムの導入
 - ①ICT活用について
 - * ICTプロジェクトを立ち上げ、全非常勤職員にもi-Padを支給し、電子黒板とリンクさせた授業を展開。
- (4) 国際的に活躍できる人材育成
 - ①国際教育の改善と推進
 - * フィリピン語学研修はオンライン語学研修に変更。
 - * オンライン英会話実施
 - * オーストラリアの高校と姉妹協定の締結（オンラインにて実施）
 - * 海外協定校との交流…中国・フィリピン・オーストラリア。その他、Boston Forum with Harvard Students 参加。
- (5) 探究活動の推進
 - * 1、2年生：新型コロナウイルス禍で新たな取り組みを実施。
 - * 3年生：国公立大学の推薦入試にも対応した研究を行い、進路実現も兼ねた取り組みを実施。
 - ・ 研究論文集の作成
 - ・ 研究成果の外部発信
 - ・ 研究成果と進路実現とのマッチング

■重点課題名：生徒等の付加価値向上と満足度向上

重点事業目標名：教育環境の充実

具体的施策

- (1) 進学実績 国公立大学合格
 - ① 合格実績
 - ・ 国公立大学合格：31名（内浪人4名）[名古屋大学1名、信州大1名、筑波大学1名等]
 - ・ 私立大学合格：215名（内浪人38名）[東京都市大学11名、GMARCH3名、成成明国武3名、日東駒専33名等]
 - ② 共通テスト受験者数：189名（昨年161名、17%増加）
 - 受験学力向上企画の実施
 - (7) 学習支援センターは、机・イスの配置を工夫し、数も大幅に増やした。コロナ対策として、換気・消毒を徹底した。

- (イ) 予備校講座3年は継続し、1・2年生を対象とした小論文講座を開講。
 - (ロ) 朝テストの実施。
 - (エ) Step by Step 講座：放課後講座とチューターによる基礎学力サポートを実施。
 - (オ) 受験対策講座：3年生対象、放課後及び長期休業中の共通テスト及び国公立個別試験・難関私大の対策講座。
 - (カ) 個人指導の充実
ATZプロジェクト、Kプロジェクトを実施。
- (2) キャリアセンターの充実とキャリア教育の完成
- 就職内定率 100%
 - ・ヤングハローワークとの連携
 - ・個別面談
 - ・進学、就職の体験的な学習機会<就職面談（7月）、就職希望者説明会（8月）、就職模擬試験・3年マナー講座（9月）、個別指導（8月下旬～9月）、2年進路説明会・1年大学模擬授業（10月）、2年社会人講話（12月）、2年進路の日（3月・予定）、インターシップ（3月上旬）新規事業として、2年マナー講座（3月上旬）、商工会議所と連携講座（社会人講座）>

■重点課題名：生徒活動の活性化

重点事業目標名：豊かな学園生活の構築

具体的施策

(1) 部活動の活性化と強化部の拡大

①加入率の向上

*部活動加入率は全校平均で 72.5%(1年生は 86.8%)

②大会成績

*全国大会：2団体(女子バレーボール部、男子スピードスケート)

*北信越大会：2団体(野球、男子・女子ソフトテニス)

*県大会：12団体

(2) 生徒会活動の活性化

①生徒会本部・各委員会で生徒が主体となる企画の運営

*新型コロナウイルス感染予防のため県内の多くの学校で文化祭が中止となる中で、生徒の実施に向けた強い要望に加え、生徒会役員が実施校の情報を収集し実現に向けた粘り強い準備により、ICTを駆使したしっかりした感染予防対策で文化祭および体育祭を実施した。

②ボランティア活動の推進

*「通学路花いっぱい運動」(5/28実施)

*34回目を迎えたクリーンキャンペーンは、実施内容を変えて新たに塩尻中央スポーツ公園の落ち葉の片付けを行った。

*市内3校の高校生徒会と連携し、通学路等の改善・修繕箇所をまとめた要望書を塩尻市議会に提出。

(3) 生徒指導数の減少

①制服着用・整容指導の継続

②挨拶の習慣化および授業規律の改善と向上

*朝の駅前と校門でのあいさつ運動の継続

③人権意識の向上

*いじめアンケート調査を年3回実施